

授業科目	解剖学	1 学年・前期・2 単位 (60 時間)	
		理学 作業	必修 必修

科目担当責任者	松村博文 (保健医療学研究棟 E411 号) e-mail : hiromura@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	水口 徹、(中村宅雄)、(鈴木大輔)、(小林英司)、(中野正子)、(溝口照悟)		
概要	ヒトの病態や機能を理解するには、正常な人体の構造を理解しておくことが必須である。それゆえに解剖学は理学療法/作業療法学科の学生にとって最も重要な基礎科目のひとつとなっている。解剖学では、人体を構成する骨格系と筋系、神経系、心臓・脈管系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系、感覚器系において、各器官がどの様に構築され、またどのように機能と関連しているかを学習する。単なる暗記学問とならないためにも、人体の各構造物の科学的な意味と機能的関連を考えながら学習を進めることが肝要である。本講では座学だけでなく中枢神経系の構造の理解を深められるよう、脳実習や標本館での臓器見学もプログラムに組み入れている。筋骨格系の運動器や脈管系については本講でしっかりと基礎知識を習得し、2 年次におこなう解剖実習においてさらに理解を深めることとなる。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な解剖学の人体各部の名称を記憶する。 2. 各器官の機能を理解し、かつその連関を説明できる。 3. 骨の形態と名称を正しく認識する。 4. 関節の構造を理解する。 5. 筋の起始停止、支配神経と作用を学ぶ。 6. 脳神経の機能を理解する。 7. 自律神経の仕組みを学習する。 8. 中枢神経についての理解を深める。 9. 発声器官を含む呼吸器の仕組みを学習する。 10. 消化器系における実質臓器と中空臓器の構造を理解する。 11. 動静脈系とリンパ系等の循環器の経路と心臓の構造および刺激伝導系を学習する。 12. 膜に関する構造(クモ膜、軟膜、漿膜、壁側膜、臓側膜、間膜、腹膜後器官・・・)を理解する。 13. 感覚器の構造を正しく説明できる。 14. 泌尿生殖器の構造を正しく説明できる。 		
関連科目	解剖学実習、生理学1、生理学2、運動学1、運動学2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	試験	90%	
	脳スケッチ	10%	
教科書	①細田多穂、五味敏昭、浅井友詞、佐藤二美 [2015 年・6480 円] 「運動器系解剖学テキスト」 南江堂 ②Wynn and Lawrence (著)、嶋井(訳) [2015 年・4,320 円] 「カラースケッチ解剖学 第4版」 廣川書店		
参考書	指定なし		
履修上の留意点	人体の構造で理解すべき事項は広範囲におよび、解剖学用語(ノミナ)も膨大である。そのため知識の習得には日々の学習の積み重ねが欠かせない。そのため予習と復習を欠かさないこと。予習には教科書としてあげている運動器系解剖学テキストの該当頁を通読すること。また関連する局所解剖学の頁(340-478)も参照のこと。事後学習のためのカラースケッチは講義時間中も活用するので、色鉛筆ともに毎回持参すること。標本館見学実習と脳実習は後半の適時に行う予定。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	人体構造総論 骨学総論	事前:運動系解剖学テキスト 2-30 通読 事後:カラースケッチ	講義	松村

		1, 2, 5, 10, 17-19		
2	骨学各論 1(体幹骨)	事前:運動系解剖学テキスト 30-37 通読, 事後:カラスケッチ 25-28	〃	〃
3	骨学各論 2(上肢骨)	事前:運動器系解剖学テキスト 38-48 通読, 事後:カラスケッチ 29-34	〃	〃
4	骨学各論 3(下肢骨)	事前:運動器系解剖学テキスト 48-59 通読, 事後:カラスケッチ 35-41	〃	〃
5	骨学各論 3(頭蓋骨)	事前:運動器系解剖学テキスト 60-69 通読, 事後:カラスケッチ 22-23, 128, 129	〃	〃
6	筋学総論	事前:運動器系解剖学テキスト 70-81 通読, 事後:カラスケッチ 11, 21	〃	〃
7	筋学各論 1(頭頸部の筋)	事前:運動器系解剖学テキスト 82-90 通読, 事後:カラスケッチ 44, 46	〃	〃
8	筋学各論 2(上肢の筋)	事前:運動器系解剖学テキスト 93-94, 105-120 通読, 事後:カラスケッチ 52, 58	〃	〃
9	〃	〃	〃	〃
10	筋学各論 3(下肢の筋)	事前:運動器系解剖学テキスト 121-137 通読, 事後:カラスケッチ 60, 67	〃	〃
11	〃	〃	〃	〃
12	筋学各論 4(体幹の筋)	事前:運動器系解剖学テキスト 90-104 通読, 事後:カラスケッチ 48-50	〃	〃
13	神経総論	事前:運動器系解剖学テキスト 138-142 通読, 事後:カラスケッチ 13, 68-71, 84, 89	〃	〃
14	末梢神経系 1(脊髄神経系・脳神経系)	事前:運動器系解剖学テキスト 168-187 通読, 事後:カラスケッチ 70, 83-89	〃	〃
15	末梢神経系 2(自律神経系)	事前:運動器系解剖学テキスト 188-192 通読, 事後:カラスケッチ 91-93	〃	〃
16	中枢神経系 1(脊髄・脳幹・小脳)	事前:運動器系解剖学テキスト 157-165 通読, 事後:カラスケッチ 77-79, 85	〃	(小林)
17	中枢神経系 2(大脳)	事前:運動器系解剖学テキスト 154-156 通読, 事後:カラスケッチ 73-76, 80-82, 108	〃	(中野)
18	臓器総論 消化器系の構造と機能 1(口腔・咽頭)	事前:運動器系解剖学テキスト 237-243 通読, 事後:カラスケッチ 134-138	〃	松村

19	消化器系の構造と機能2	事前:運動器系解剖学テキスト 243-250 通読, 事後:カラースケッチ 134, 135, 137-141	〃	水口
20	消化器系の構造と機能3	事前:運動器系解剖学テキスト 251-254 通読, 事後:カラースケッチ 142, 143	〃	〃
21	循環器系の構造と機能1(心臓)	事前:運動器系解剖学テキスト 217-226 通読, 事後:カラースケッチ 101-106	〃	松村
22	循環器系の構造と機能2(動脈)	事前:運動器系解剖学テキスト 217-226 通読, 事後:カラースケッチ 101-105, 107, 109-113	〃	〃
23	循環器系の構造と機能3(静脈) 内分泌系・リンパ系	事前:運動器系解剖学テキスト 227-236 通読, 事後:カラースケッチ 116-121	〃	〃
24	呼吸器系の構造と機能	事前:運動器系解剖学テキスト 257-268 通読, 事後:カラースケッチ 127, 130-133	〃	〃
25	泌尿器系の構造と機能	事前:運動器系解剖学テキスト 269-277 通読, 事後:カラースケッチ 144-147	〃	〃
26	生殖器系の構造と機能	事前:運動器系解剖学テキスト 278-293 通読, 事後:カラースケッチ 155-161, 51	〃	(鈴木)
27	感覚器系の構造と機能	事前:運動器系解剖学テキスト 193-208 通読, 事後:カラースケッチ 90, 94-99	〃	(中村)
28	標本館見学実習(基礎医学棟8階)	事前:13回目～実施時点までの内容を 復習	観察実習	松村
29	脳実習(教育研究棟1地下 解剖実習室)	事前, 事後とも16, 17回内容を復習	実習	(小林) (溝口) (中野)
30	〃	〃	〃	〃